

平成 28 年度事業計画書

公益財団法人熊本市美術文化振興財団

【財団の目的】

美術をはじめとした文化芸術に関する調査研究、教育普及、展覧会事業等を基礎とし、美術館等の活発な管理運営を推進することを通じて、教育や福祉の充実、産業の活性化、地域の再生など様々な分野において、文化芸術の持つ創造性を活用し、心豊かな市民生活を実現するとともに都市の活力と魅力を高める、熊本市のまちづくりに寄与することを目的とする。

【財団の目的を達成するための事業】

- (1) 美術館等における文化芸術の調査研究等事業
- (2) 美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業
- (3) 美術館等における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業
- (4) 前1号から3号の事業を行うための美術館等の管理運営
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

＝ 熊本市からの受託事業 熊本市現代美術館の指定管理業務 ＝

【熊本市現代美術館の設置目的】

市民が美術文化を享受するとともに、美術に関する知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与すること

【熊本市現代美術館の管理にあたっての基本理念】

- (1) 現代美術を中心とした美術館として、国内外の水準の高い、又は親しみやすい企画展を開催し、市民に鑑賞機会を提供するとともに、美術の調査研究と地域に根ざした教育普及活動を実施する。
- (2) フロアをゆっくりすごせる空間として開放し、市民が気軽に足を運ぶことができる地域に開かれた親しみやすい美術館を目指す。
- (3) 表現活動を続ける地元の芸術家を応援する美術館として、発表の機会を提供するとともに、市の美術文化を国内外に向けて発信する。

【基本理念に基づき、財団がめざす、熊本市現代美術館の方向性】

1. アートの力を見せる - 惹きつける、変える
2. アートへの愛情を育てる - 根づく土壌をつくる
3. アートで人をつなぐ - アートで都市をデザインする

1. アートの力を見せる - 惹きつける、変える

(1) 美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関する業務 [公2]

ア 事業内容1,2,3,4、ア 公表方法1,2,3、イ

- ① 熊本市の作品収集に伴う予備調査及び報告 (ア 事業内容1,2)
- ② 熊本市所蔵作品の管理・保管・貸出等業務 (ア 公表方法2,3 イ)
- ③ 美術品の貸出・借入業務委託に関する管理の徹底 (ア 事業内容4 イ)
- ④ 作品保存等の知識向上を目的としたIPM研修等の開催 (ア 事業内容4)
- ⑤ 魅力的な展覧会の企画・開催業務(詳細は(5)記載)

(ア 公表方法1 [公1(2)ア])

(2) 特別利用の許可、取消、停止命令に関する業務 [公2(2)ア 公表方法3]

- ① 美術品等の特別利用許可に関する業務一般

(3) 美術に関する調査及び研究に関する業務 [公2]

1) 現代美術及び美術館活動に関する調査研究 ア 事業内容1,2,3,4

- ① 展覧会の企画に伴う調査研究
- ② 現代の文化・芸術に関する専門的研究
- ③ 美術館活動に関する専門的研究
- ④ 地元の美術品・作家等に関する調査研究
- ⑤ 文化・芸術と美術館が都市の中で果たすべき役割に関する調査研究

2) 美術館・大学その他研究機関等との情報交換や共同研究の実施及び成果の公表

ア 公表方法1

(4) 借入作品の調査研究及び修復事業 [公2] ア 事業内容4

- ① 借入作品の調査研究事業
- ② 借入作品の修復事業等

(5) 展覧会の企画・開催等に関する業務 [公1]

1) メインギャラリーでの展覧会開催 アー1、エ

《目標入場者数：159,000人》

①	だまし絵王エッシャーの挑戦状 ーダリ、マグリット、福田繁雄から現代のイリュージョニストまでー	
	4月9日(土)～6月12日(日)	<目標入場者数：20,000人>
	だまし絵の巨匠エッシャー。その作品を出発点に、ダリ、マグリット、福田繁雄から現代のイリュージョニストまで、重なる関心や指向をもった古今のアーティストたちの不思議な作品約200点(うちエッシャー作品約76点)を紹介し、だまし絵の迷宮世界で常識の揺らぎを楽しんでいただく展覧会。	
②	かえってきた！魔法の美術館	
	6月25日(土)～9月19日(月・祝)	<目標入場者数：50,000人>
	色とりどりにきらめく光のオーロラやその中で動き出す不思議な影。日本を代表するメディア・アーティストが織り成す、光と影のワンダーランド、「見て」「触れて」「参加」出来る、最新のデジタル技術を駆使したメディア・アート作品を一堂に集めた「魔法の美術館」を再び熊本で開催します。	
③	ジブリの立体建造物展(仮称)	
	10月12日(水)～1月9日(月・祝)(予定)	<目標入場者数：80,000人>
	「風の谷のナウシカ」から「思い出のマーニー」まで、ジブリ作品に登場する建造物の背景画や美術ボード、美術設定といった制作資料約400点を公開するとともに、代表的な建造物を立体で表現。建築家、藤森照信氏監修のもと、これらの建造物の設計の源を探ることで、あらゆる文化・環境のなかで、人々の生活と密接につながる建物の魅力に迫る展覧会です。	
④	第28回熊本市民美術展 熊本アートパレード	
	1月28日(土)～2月12日(日)	<目標入場者数：4,000人>
	平成元年に始まり、28回目を迎える市民のための美術館。著名なアーティストによる審査と、すべての作品を展示するアンデパンダン形式が特徴。市内在住、勤務、出身の高校生以上の方なら誰でも無料で出品できる公募展を、市民の文化の創造と発表の場として実施します。	

	CAMK コレクション展 知っとるね？くまもとのお宝、大公開てばい！ いっぺん、観んきなっせ！（仮称）	
	2月18日（土）～3月26日（日）	<目標入場者数：5,000人>
⑤	熊本市収蔵作品より、誰がみても「すごい！」と驚く「くまもとのお宝」級の作品を展示します。 収蔵作品を通して、熊本市と美術館がこれまで市民とともに展開してきた多様な文化芸術活動を広く紹介し、未来を担う世代と楽しく共有する内容の展覧会です。	

- 2) 井手宣通記念ギャラリーでの展覧会開催 ア-2
 - ・井手宣通の作品を中心に収蔵作品を紹介・展示
- 3) ギャラリーⅢでの展覧会開催 ア-2
 - ① 熊本または九州ゆかりのアーティストや文化にスポットを当て、応援する展覧会
 - ・「淀川テクニク ゴミニケーション in 熊本！！」展
 - ・「丸尾三兄弟 SUPER MARUO BROS.」展
 - ・「伊藤ゆきえ」展 他
 - ② 熊本ならではの文化や歴史の魅力を再発見する展覧会
 - ・「熊本の華人」展
 - ・「アートポリス」展 他
- 4) エントランス・階段ギャラリー等への作品展示 ア-3
 - ① 収蔵作品の市民への公開、子どもの作品展示
- 5) 次年度以降開催予定企画展の企画・準備 ア-1,2,3

2. アートへの愛情を育てる ー根づく土壌をつくる

- (1) 講演会、講習会、講座等の企画・開催等に関する業務〔公1〕ウ
- ① 各展覧会関連講演会
 - ・展覧会のテーマに沿った専門家等を招聘して実施する講演会
講演会「エッシャー展を語る」
講演者：安田恭子（佐世保市博物館 島瀬美術センター館長）
日 時：4月24日（土） 他
 - ② アーティスト・トーク
 - ・展覧会の出品アーティスト自らが展覧会や作品について語るトークショー
講演者：早川直己・藤木淳
日 時：4月9日（土） 他
 - ③ レクチャー・カレッジ
 - ・展覧会担当学芸員や館長が、展覧会の見どころやエピソード等について語る講演会
講 師：担当学芸員
日 時：5月22日（日） 他
- (2) 図録・案内書等の作成及び頒布に関する業務〔公1〕アー1,2
- 1) 展覧会の解説書等の作成及び頒布
 - ① 館内アートワーク解説等
 - ② 展覧会内容解説ワークシート等
 - 2) 展覧会図録等の作成及び頒布
 - 3) 情報誌及び事業報告書等の作成及び頒布〔公3〕
 - ① 美術館情報誌「アートキッスレター」（年4回程度発行）〔公3〕イー2
 - ② 報告書・紀要「アート・ガマダス」（年1回発行） 他 〔公2〕ア 公表方法1
- (3) 芸術鑑賞・参加等イベントの実施〔公1〕イ
- ① 美術に限らない表現活動の発表
 - ・コンサート・パフォーマンス等の開催
 - ② 地域活動への協力、地域との協働事業の実施
 - ・ワークショップ等の開催（詳細は3—(5)記載）
- (4) 美術等の普及並びに市民の創作活動等の指導及び助言に関する業務〔公3〕ア
- 1) 作品解説
 - ① ギャラリーツアー、プレママ&ファミリーツアー等
 - ② ワークシート等の作成
 - ③ 館内施設等を案内する団体見学（事前申込制）

2) 創作活動等への支援

- ・創作ワークショップ等の実施
だまし絵展ワークショップ「ふしぎな立体を作ろう」
講師者：藤木淳
日 時：4月30日（土） 他

3) 子どもを対象とした企画

- ① 体験型ワークショップの実施
 - ・「ゴミから何ができるかな？」
日時：5月5日（木・祝）
- ② 熊本市教育委員会及び市内小中学校との連携
 - ・アートバス事業（市内小学校の1学級～1学年程度：年間5～6校程度）
 - ・出張授業や出張ワークショップの実施（学校から相談・要請に応じて実施）
 - ・1年生ようこそカードの発行（新1年生全員に美術館の使い方を書いたパンフレットを配布。持ってくると大人一人が無料となる。）
 - ・階段ギャラリーの利活用（作品の展示）
 - ・団体見学 他

4) 人材育成

- ・学芸員実習等の受け入れ

(5) 美術及び美術館に関する情報の収集及び提供に関する業務〔公2〕ア 公表方法4

- ① ホームギャラリー・アートスカイギャラリー等における情報提供
- ② ホームページ、館内等における収蔵品情報や美術関連情報の提供

3. アートで人をつなぐ –アートで都市をデザインする

(1) 美術館の管理に関する基本的業務〔共通〕

1) 来館者が快適に過ごせるサービスの実施及びサービス向上のための工夫

- ① 基本的サービス
 - ・利用者の平等な利用の確保
- ② 来館者へのサービス向上及び館内ホスピタリティの充実
- ③ 安定した施設管理能力の確保
 - ・職員の資質向上（研修等）
- ④ 来館者アンケート、モニタリングの実施
 - ・利用者ニーズの把握と反映
- ⑤ 市との連絡調整、苦情対応 他

(2) 美術館の使用許可、取消、停止命令に関する業務〔収益〕

アートロフト、会議研修室の使用許可に関する業務一般

(3) 美術館の施設維持管理に関する業務〔共通〕

1) 美術館施設維持管理業務

- ① 設備等日常管理業務
- ② 有人警備業務
- ③ 清掃業務
- ④ 映像、調光、放送設備等保守管理業務
- ⑤ セキュリティ設備・監視カメラ等保守管理業務
- ⑥ 防火・防災対象物定期点検業務
- ⑦ 美術情報システムリース及び保守管理業務
- ⑧ 施設賠償責任保険・ガラス保険の付保
- ⑨ アートロフト手動式昇降ステージ保守点検業務 他

2) 美術館施設修繕等業務

(4) 美術及び美術館に関する情報の収集及び提供に関する業務〔共通〕

1) ホームギャラリー・アートスカイギャラリー等における情報提供

2) 広報活動の充実

美術館リーフレット、年間スケジュール等の作成及び頒布

3) ITC の活用（HP・Twitter・facebook 等）

(5) 美術等の普及並びに市民の創作活動等の指導及び助言に関する業務 [公3] イー1,3

1) 文化活動等の支援

- ① まちなか美術館（すきたい熊本）への協力
- ② アートNPOへの後援 等

2) ボランティア活動の支援

図書チェック、布絵本、発送、資料整理、イベント補助、ピアノ演奏等

3) 交流機会の促進

① 街なかのくつろぎ空間

赤ちゃんからお年寄りまで気軽に立ち寄れる施設（ホームギャラリー、アートスカイギャラリー等）の充実

- ・子そだてひろば運営協力及び、ワークショップの協働開催等

② 文化活動を通じた市民交流の拠点施設

エントランス等の利活用

- ・ミュージック・ウェーブ（音楽関係：コンサート）
- ・月曜ロードショー（映画関係）
- ・詩や文学の朗読会（文学関係）
- ・人形劇、紙しばい、読みがたり 等

③ 中心市街地のにぎわい創出

地域活動への協力、地域との協働事業の実施 他

- ・中心商店街等との連携・協働事業
上通アートプロジェクトへの協力（江口寿史）（仮）
- ・大学との連携・協働事業

＝ 自主事業 - 1 ＝

(6) アートによる他分野政策の推進・補完 [公3] イー3,4

- 1) 行政や民間の異分野が持つ課題に対して、アートが発揮する効果や可能性についての調査研究
- 2) 行政や民間のアートを活用した事業への協力
熊本市都心活性推進課、にぎわい推進室、北区役所 他
 - ・火の国まつりイベントおぼけやしきの開催（熊本市にぎわい推進室）
 - ・(仮称)花畑広場におけるアートプロジェクトの実施（熊本市都市活性推進課）
 - ・北区子どもまつりにおける中学生との制作ワークショップの実施（熊本市北区） 他

＝ 自主事業 - 2 ＝

(7) 熊本市が実施する「芸術文化を活かしたまちづくり」への協力（文化振興課） [公3]
アー1,3、イー3,4

- 1) 市の文化政策についての協働検証（熊本市芸術文化会議の共働運営）
- 2) 子どもたちが芸術文化活動(美術・音楽・演劇・ダンス等)に親しむための教育現場との連携事業（出張授業、出張ワークショップ（アウトリーチ））等の共働開催
- 3) アートを活かしたまちづくり推進事業

＝ 自主事業 - 3 ＝

(8) 人、組織、地域がつくる（支える）美術館評価研究としくみづくり [公3]
イー4

- 1) 外部評価実施館への調査
- 2) 行政・専門相談員とのグループ討議
- 3) ワークショップ 他